

令和7年度ホタテガイ採苗情報（臨時号）

令和7年8月21日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



唐丹湾におけるホタテガイ稚貝の付着盛期は5月上旬～下旬。最大付着数は昨年度を上回りました。

<付着盛期調査>

唐丹湾（調査定点）においてホタテガイ採苗器を5月8・28日、6月11・26日に垂下し、8月4日に一斉に回収して稚貝の付着状況を調査しました。

<結果>

- 唐丹湾（調査定点）における稚貝の付着数は5月28日投入分で1,138個/袋と最も多く、次に5月8日投入分が1,134個/袋と多い結果になりました（図1）。
- 最大付着数は、採苗が少なかった昨年度（506個/袋）の約2倍となりました。
- 今年の稚貝の付着ピークは5月上旬～下旬と考えられます。また、5月28日以降の採苗器で1～3mmの稚貝が確認されたことから、稚貝の付着は7月上旬頃まで継続していたものと考えられます。
- 今年は多くの稚貝が採苗されたことが予想されます。採苗器内の稚貝（ホタテガイ以外も含む）が多すぎると、貝同士の噛み合い等で異常貝が発生することがありますので、ご注意ください。
- ホタテガイやムラサキガイ等を捕食するトゲクリガニが5月8日の採苗器で12体確認されました。

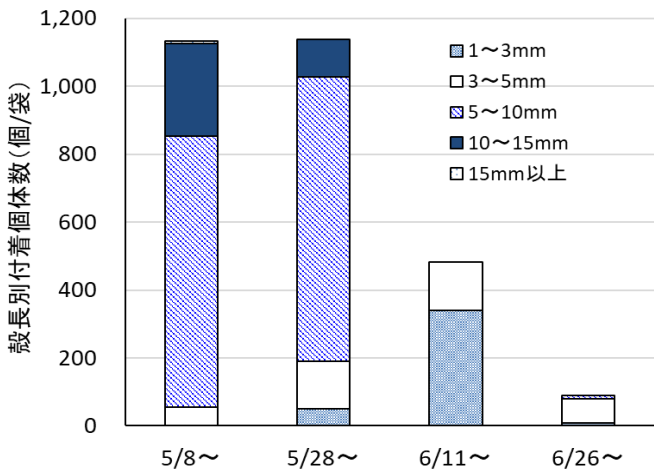


図1 唐丹湾のホタテガイ付着稚貝数
（令和7年8月4日に各採苗器一斉回収）

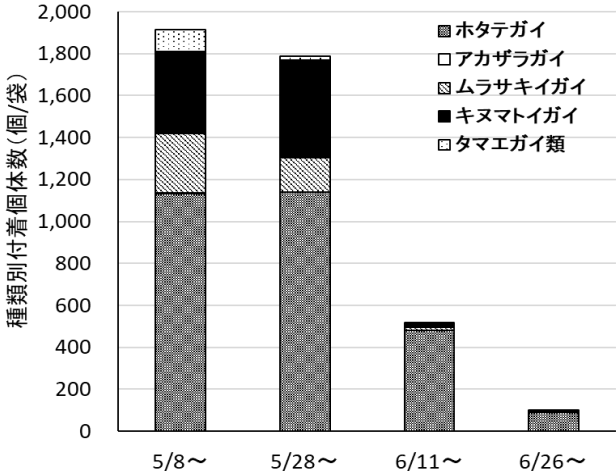


図2 唐丹湾の付着稚貝数（ホタテ以外含む）
（令和7年8月4日に各採苗器一斉回収）

<稚貝の採取・分散の注意点>

- 採取・分散は、海水の塩分が低くなる雨の日や雨後を避け、稚貝の体力を消耗させないように水温25℃以上の場合は実施しないなど、水温の動向を確認しながら丁寧かつ速やかに作業を進めてください。
- 採取する稚貝の大きさは殻長9mm以上とし、可能な範囲で早めの採取・分散を心がけましょう。
- 変形貝を防ぐため、玉ねぎ袋の底にたまった稚貝は使わないようにしましょう。
- 分散作業で使用するポンプアップした海水は、工事等による濁りの影響がないことを確かめて使用してください。